

人の力を最大限に生かす

キリングループロジスティクス 加藤 元社長 (下)

1年を掛けて現場の声を吸い上げ、昨年7月に経営理念が完成したことで、会社の背骨が出来上がった。これからは本場の意味でのスタートだと加藤元社長は指摘する。今後は、メーカーの物流機能を一手に引き受ける。「面白いことが始まる」との期待も大きい。それ以上に大変さもあ

る」と本音が漏れる。

そんな同社の自信と武器になるのが「キリン品質」の構築だ。「いま取引いただいている得意先が離れていかない、キリ

ンでなければ不安だと思われる。これこそがキリン品質」という同社長は、キリンだからこその物流サービスの品質向上を目指す。

その一環として、28拠点ある支店の支店長のマネジメントレベルをアッ



トツプラー

TOP PRUNER

決断と挑戦

プするため、メンバー育成・チームビルディング研修をはじめ、安全品質に絞った研修を行っている。同社は安全品質の専門的組織として、安全・品質・環境室を設置し、「キリンビールの工場で過去から培ってきた『品質第一』の徹底された考え方を、同社の安全品質

面でも採り入れ、真の事故ゼロを目指していきたい」とし、活動範囲を増やしていく。

「決められたことを確実にこなす実直さ、運びきる現場力、そして習慣化されたカイゼン力が強み。この強みをさらに高め、魅力あるものにするのがキリン品質」と、同社長は無限の可能性を秘めた人の力を最大限に生かしていく考えだ。

また、今後は外販にも力を注いでいく。しかし、そこには単なる事業拡大という視点はない。同社長は、「キリン以外の

お客様から信頼を得られれば、それが我々にとって自信につながる」という。さらに、「グループ企業の成長に合わせて我々も走り続けたいといけない」とし、「グループ以外のお客様と仕事をすることで、いろいろなノウハウが得られる。ノウハウの蓄積が結果的にグループの成長に役立っていく」。外販における同社長の考えは、「グループの成長に伴走していくためにも必要不可欠なもの」との認識だ。

「まだまだ課題が多く、やらねばならないことばかり」としながらも、キリン品質の構築を目指し、陣頭指揮を執る改革

請負人は、「強みである人の力があるので、やれると実感しているし、楽しみでもあると明るく、そして力強く話す。

今年4年振りに新入社員13人が入社する。理念の価値観の中にある、心躍る挑戦、やりきる情熱をいかに彼らに伝え、実践させられるか」とい

加藤元社長は昭和35年3月26日生まれ。同57年4月・キリンビール入社、平成12年7月・営業本部営業部営業企画担当部長代理、同17年9月・近畿圏統括本部近畿圏営業推進部部長、同25年3月・キリン物流取締役東日本支社長、同26年4月・キリングループロジスティクス代表取締役社長

【会社概要】
 設立 昭和16年8月
 年商 614億円
 (平成26年12月期) ▽
 グループ従業員数 1757人 (同28年1月末現在) ▽
 拠点数 11本社・4支社・33事業所

(高田直樹)